



## よりよい選択をするために…

校長 荻間 秀浩

先週の体育科学習発表会。2年ぶりに保護者の皆様の参観の下、無事実施することができました。おうちの方々がいらしていることもあって、子供たちも張り切って、表現や短距離走に取り組んでいました。当日は、本番に向け一生懸命に取り組んできた成果をお見せすることができました。感染防止の観点から、様々な規制がありましたが、ご来校と参観へのご協力に感謝いたします。

本校では平成29年11月から令和2年度まで「リーダーインミー」の学習に取り組んできました。「リーダーインミー」とは、企業研修などにも活用されているフランクリン・R・コビー氏の「7つの習慣」の子供版です。令和3年度からは各学級の指導の中で、また、校長による講話の中で「リーダーインミー」の話をしています。今年度もこれまでに3回、子供たちに話をしてきました。その内容は…

- ①「自分ナビ」：自分で考えて、自分で選んで、自分から行動する力。それが自分をナビゲーションすること。自分ナビです。誰かを笑顔にするために自分ナビを使って行動できるようになっていきましょう。そのために大切にしたいのが、教室に掲示してある「7つの習慣の木」です。
- ②「一時停止ボタン」：人やものから何かをされることを刺激と言います。それに対して自分が応えることを反応と言います。刺激と反応の間に間をおいて考えることができるいろいろな反応を選ぶことができます。その間をおくことを「一時停止ボタンを押す」と言います。一時停止ボタンをもてるのは、人間だけです。人間は、いつも自分の行動を選んでいきます。一時停止ボタンを押して自分の行動を選べる人になっていきましょう。
- ③「選択」：みなさんの周りには、自分で決められることと決められないことがあります。天気や人の行動は自分では決められません。自分で決められないことにとらわれていても時間ばかり過ぎてしまいます。「何時に起きる。」「何時までに〇〇をする。」など、自分で決められることに目が向く人は、自分で決められる範囲が少しずつ広がっていきます。(影響の輪)それが、自分の決められないことにも影響して、自分の周りの世界を変えられるようになっていきます。これが第1の習慣「主体的になる、自分で自分のリーダーになる」ということです。よりよい選択ができるようになっていきましょう。

というものでした。子供たちの中には、話を聞いて頭ではわかっているけれど行動に移すこと(一時停止ボタンを押す、正しい選択をする)は難しいという子もいます。大人でも難しいことかもしれません。まだまだ成長過程の子供たちですから、学校生活の中でも多くの失敗もします。その時その時に振り返らせて、どれがよりよい選択だったのか考えさせていきたいものです。自分で選択する、自分で決める、それがよい結果に結びついたとき、子供たちの成功体験となり、子供たちの自信につながっていくからです。

今回の体育科学習発表会の練習の中でも、子供たちが自分たちで創り上げる経験を積めるよう、どの学年でも取り組んでいました。練習を重ねるにつれ、子供たちが一つ一つの動きに自信をもって踊っている姿が多く見られました。子供たちも本番に向け、よりよい選択をしてきた結果だと思えます。この経験を今後の学校生活の中でも生かしていけるように支援・指導してまいります。今月も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 体力テスト

体育部 1年4組担任 小澤 萌水

1日から体力テストが始まりました。感染防止の観点から3密を避け、体力テスト期間中に学年や種目を分散して測定を行います。それぞれの種目の測定時期は学年やクラスごとに違いますので、連絡帳等でご確認ください。

### 体力テストの種目

- ・握力
- ・上体起こし
- ・長座体前屈
- ・反復横とび
- ・20mシャトルラン
- ・50m走
- ・立ち幅跳び
- ・ソフトボール投げ

今年度から児童の意識向上をねらい、6年生の各種目の最高記録を「松仙レコード」として体育館入り口前に掲示をする予定です。掲示は今年度の体力テストが終わり次第作成しますので、機会がありましたらどうぞご覧ください。

体力テストの結果は2学期以降返却されます。その結果を参考(数値だけにとらわれないように)としながら、体を動かすことへの関心を高められるよう、ご家庭でもお子さんとお話してみてください。

## 校内研究

研究主任 5年4組担任 伏江 祥吾

今年の校内研究のテーマは「友達と高め合う児童の育成～できた・見方・伝え方の学習を通して～」です。今回のテーマに込めた思いは、体育の授業において、子供たちが自分の動きを高めていくために、「できた。もっと記録を伸ばしたい。もっと、できるようになりたい。」という成功体験を積み重ねることや、友達の運動の様子を見る力(視点や位置)、友達の運動の様子を適切な言葉を用いて伝える力を伸ばし、身に付けてほしいと考えたからです。研究テーマに向かって①「できた」と感じるための工夫、②自他の運動の見方を知るための工夫、③友達と運動の様子を伝え合うための工夫を考えていきます。

今年度も、各学年+専科の計7回の研究授業を予定しています。これまでに培った感染防止対策を講じながら、子供たちの学びにつながるよう研究を進めていきます。

また、今年度も研究授業に限らず、若手からベテランまでお互いの授業を日常的に見合い、指導について語り合う環境づくりも継続して進めて参ります。

## 6月～7月上旬の行事予定

日	曜	行事等	放
1	水	特別時程 体力テスト始	×
2	木	歯科検診 25 眼科検診 456 読書・学習の時間(いじめ調査 123 生活調査 456)	×
3	金	移動教室前健診(6-1・2)13:30	×
4	土		
5	日		
6	月	伊豆高原移動教室始(6-1・2) 放送屋会 児童・生徒の学力向上を図るための調査5	×
7	火	伊豆高原移動教室終(6-1・2)	×
8	水	4時間授業 安全指導 移動教室前健診(6-3・4)13:15	×
9	木	伊豆高原移動教室始(6-3・4) 眼科検診 123	×
10	金	伊豆高原移動教室終(6-3・4) 松仙タイム④	×
11	土		
12	日		
13	月	水泳指導始 社会科見学 3	×
14	火	クラブ①	×
15	水	4時間授業 研究授業①(5-4)	×
16	木	避難訓練(二次避難) 読書学習(たてわり班活動計画 6)	×
17	金	体力テスト終 生活科見学 2 児童・生徒の学力向上を図るための調査4	×
18	土	学校公開日 土曜補習教室	×
19	日		
20	月	放送屋会 セーフティ教室	×
21	火	クラブ② WEBQU6	×
22	水	4時間授業 WEBQU5	×
23	木	避難訓練予備日 WEBQU4	×
24	金	松仙タイム⑤ WEBQU3	×
25	土		
26	日		
27	月		×
28	火	委員会	×
29	水	特別時程 たてわり班活動	×
30	木	定期健康診断終 4時間授業	×
1	金	読書学習(たてわり班活動計画 6)	×
2	土		
3	日		
4	月	放送屋会 水道キャラバン 4 保護者会 123	
5	火	保護者会 456	×
6	水	4時間授業 研究授業②(音楽)	×
7	木	社会科見学 4	×
8	金	松仙タイム⑥	×
9	土	土曜授業 たてわり班活動 土曜補習教室	×
10	日		

### 【見方】

- 半角数字は学年(例:遠足4=4年生の遠足)
- hは実施の時間(例:1h=1時間目)
- ○数字は回数(例:クラブ①=クラブ1回目)

